

1. 後援承認

- 2004年度放射線疫学情報シンポジウム  
主催：(財)放射線影響協会 開催日：平成17年3月9日－10日  
(2005年1月31日承認)
- 8回運動疫学研究会学術集会及び第6回運動疫学研究会セミナー  
主催：運動疫学研究セミナー実行委員会 開催日：平成17年8月4日－7日  
(2005年2月22日承認)
- 国際シンポジウム「地域・職域におけるこれからの健康づくり事業」  
主催：運動疫学研究会 開催日：平成17年5月16日  
(2005年3月7日承認)
- 第18回日本循環器病予防セミナーにおける後援名義使用について  
主催：(社)日本循環器管理研究協会 (財)日本心臓財団  
開催日：平成17年7月8日－13日  
(2005年3月30日承認)
- 第1回医療安全国際会議  
主催：国際予防医学リスクマネジメント連盟 (URMPM)  
開催日：平成18年1月23日－24日  
(2005年6月13日承認)

2. 学術著作権協会

- **Inter-Library Loan (ILL：図書館間貸借)に係わる権利委託契約書 (2005年4月)**  
学術著作権協会と国公立大学図書館協力委員会 (大学図書館委員会) が、大学図書館貸借(ILL)を通信回線を利用して行うことに係り合意書を交わすことについて、権利委託団体である本学会に了解を得るための契約書。
- **米国税務登録申請書提出 (2種類) (2005年7月)**  
申請書 SS-4 (Application for Employer Identification Number)  
申請書 W-8BEN (Certificate of Foreign Status of Beneficial Owner for United States Tax Withholding)  
本学会の著作物は米国 CCC に著作権使用の再委託をしているため、米国税務局に税制優遇措置の適用 (米国内での源泉徴収 30%を免れるための手続き) を申請。
- **文献提供業者 (DS) による限定的電子化許諾に関する代理委任契約書 (2005年7月)**  
学術著作権協会に DS から複写物を顧客に提供することのみを目的として、著作物のイメージファイルを作成することへの許諾の要望があり、学術著作権協会は、利用範囲を複写目的に限定、複写部数 2 部以内に限定する等の条件で対応。著作権使用料 (額) については以下の通りとした。  
基本料：1 件につき 10 頁まで 150 円、追加料：超過分 10 頁ごとに 100 円

3. 疫学ハンドブック増刷

前回（第2刷、2002年12月）は300部増刷、今回（第3刷）は400部増刷。

4. 倫理綱領提供の依頼

日本アレルギー学会事務所から、参考のため倫理綱領の提供の依頼があった（2005年6月）。倫理審査委員長に相談した結果、問題ないとのことで「日本疫学会倫理審査委員会設置要項」、「疫学研究を実施するに当たっての倫理宣言」、「疫学研究を実施するにあたっての倫理指針」の資料の提供をした。

5. 大学評価学位授与機構推薦、結果

大学、短期大学、高等専門学校各機関別認証評価委員会及び運営委員会において、平成17年度実施分の各機関別認証評価担当の専門委員について、当学会から5名の先生を推薦したが、今回は見送られた。

6. 第7回アジア・太平洋地域エイズ国際会議開会式（2005年7月1日）

理事長が都合により出席できないため、木原正博 評議員（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 国際保健学講座）に代理出席をお願いした。

7. 引用・転載の依頼（2件）

- ・ 株式会社 緑書房（チクサン出版社）（2005年8月）

→「獣疫学実用ハンドブック」出版のため

書名：第11回日本疫学会学術総会講演集

「腰痛に関する、生活習慣、健康状態、社会・心理要因」

著者：大谷哲也先生他

発行年：2001年

- ・ 株式会社 ファーマインターナショナル（2005年8月）

→アボットジャパン(株)提供のパンフレット「体格指数(BMI)と脂肪の相関(仮)」のため

論文名：Body Mass Index and Mortality in a Middle-aged Japanese Cohort

著者：林るみ子先生他

発行年：2005年

8. 認定医のアンケート（2件）

第27回日本医学会総会事務局と独立行政法人国立病院機構 静岡医療センターから本学会における認定、専門医制度の認定、専門、指導医などの確認の依頼があったが、共に本学会には認定医などの制度がないとの返答をした。